

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2023年2月19日



## 保険料・窓口負担の軽減を 類の緩和より医療提供体制拡充を

### Ⅱ後期高齢者医療広域連合議会Ⅱ

10日、京都府後期高齢者医療広域連合議会が開かれ、井上議員から、議案への質問や請願書の紹介等、「高齢者の命と健康を守れ」と追及しました。主な発言を紹介します。

※ ※

●個人情報保護条例の制定についての同議員の質問Ⅱ「条例案の元になっっている個人情報保護法は、個人情報の、



保護から利用活用を謳っており、財界は、国民の膨大な情報を「21世紀の石油」と位置付け、利益の源泉と考えている。「保護」とは逆の方向に進んでいる。●保険運営者として、コロナと一般傷病から被保険者の命と健康を守る施策はどうか。

◎連合長答弁Ⅱコロナは特に把握できない。介護予防と保健予防活動には力を入れている。

●京都市に求めた資料から私の推計によると、被保険者でのコロナ感染者は約5万2千人、亡くなられた方は千三百人余りになると思われる。類の緩和よりも、医療提供体制拡充を、もっと国や府に要求すべき。

◎国に対し、広域連合の全国協議会として要

先週号の見出し「姿勢を動かす」は「市政を」の間違いで訂正します。

求めている。

また井上議員は、紹介議員として、府民から寄せられた請願を説明しました。

1、保険料や窓口負担の軽減を。

2、マイナンバーカードを健康保険証として使うからといって、保険証をなくすな。カード取得は任意だ。取得しない人から保険証を取り上げるのは医療を

### 懇談会で声を聞く

アルンディⅡたまり場という団体主催の懇談会で、市民の皆さんの声を聞きました。多文化共生センターにて、生活保護費の引上げを、市営住宅の空き部屋の

### 「成長戦略の加速の為、財源確保が重要」

開会中の議会に市長が提案している「持続可能な行財政推進条例」について、「都市の成長戦略を加速させるため、財源を確保していくことが重要」と説明されています。市長は、「財政危機」だから「改革」だ、と言っている市民に負担を押しつけ、施策を切捨て

受ける権利を奪うことになる。許されない。残念ながら二つとも不採択となりました。



アルンディ＝たまり場懇談会(2/12)

早期募集へ、学生の生活・学費への支援を、図書館の本が古い等々、切実なご要望が出されました。

てきました。その「改革」による財源確保が、市民の暮らしを守る為ではなく、実は「成長戦略」の為だったことが、はからずも示されています。成長戦略とは、規制緩和や企業誘致など、大企業の活動し易い京都へ、という意味です。「危機」が「危機」でなかったら

**後期高齢者医療保険**とは、75歳以上の住民を対象とする強制加入の健康保険で、広域連合とは、それを運営する団体です(一般的に、この団体を「保険者」と言います)。都道府県毎に、その府県内の市町村で構成されます。首長である連合長は、その市町村の長の中から選ばれ(京都では、現在、八幡市長が連合長)、議員は、各市町村議会の中から選ばれます(住民には選挙権・被選挙権は有りません)。京都府では、26の自治体から、京都市4人(共・自・公・民各党から各1人)、宇治市2人、他の自治体から各1人の計30人での構成です。夏(前年度決算)と冬(翌年度予算)の年2回、各1日だけの開会です。請願は可能ですので、どしどし。

とも、今回の予算で明らかになっています。